

講義名	公務員特別演習（公安職編入）			授業形態	
担当教員	河辺 有希生	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生
				ナンバリング・コード	ESM340

主題と概要

【主題】 この講座は公務員特別演習は、公務員を目指す、1年後期（演習）から4年前期（演習）まで一貫したプログラムの後半から新たに公務員（公安職）をめざす講座です。「究極のサービス業」とも呼ばれる公務員（公安職）は、人々の暮らしを守るやりがいのある職業です。公務員試験は競争が厳しく、この演習を受講したからといって容易に合格できるものではありません。また知識をただ暗記し、他者からの指示がなければ行動できない人材も求められてはいません。人間力がある、まさに本学が掲げる「ネアカのびのび」へこたれずの精神をもった人材が求められています。そこで本演習は、高いモチベーションを維持しながら試験対策を効果的に継続できるように、短期集中的に様々なヒントを段階的に与えることで、公務員を目指す諸君をサポートしていくものである。

【概要】
次の目的意識のもとで授業を行う。
（1）公務員（公安職）の職務に関する基礎的・具体的な知識の修得
（2）目指す進路（希望職種）を定めるための情報や知識の修得、理解の深度化
（3）公務員試験に対応できる知識やスキルの向上

到達目標

1. 公務員（公安職）の身分、職責、職務の内容について、具体的に理解できるようになる。
2. 自分自身が目指す職種を具体的にイメージし、それを達成するための課題を明確に意識できるようになる。
3. 公務員試験に臨み、難関を乗り越えていくためのモチベーションを高め、主体的な学びができるようになる。
4. とりわけ難しいといわれる試験科目について、自身の対応能力を向上させることができるようになる。

提出課題

- ・各講義記録ワークシート
 - ・各試験対策演習の確認小テスト、中テスト
 - ・エントリーシート
 - ・面接対策シート
- の提出を求めます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- ・各講義記録ワークシート
 - ・各試験対策演習の確認小テスト、中テスト
 - ・エントリーシート
 - ・面接対策シート
- について、授業内での講評、添削指導を行います。

評価の基準

公務員関連の調査・発表・質疑応答が 30%、試験対策演習と確認テストが 30%、授業参加度合い（授業態度、授業における質問・発言等及び講義記録ワークシートによって評価する）が 40%の割合、合計100点満点で評価します。

本授業は期末試験を実施せず、成績は授業期間内で全て評価されます。この科目は、継続的な演習を中心とした科目です。欠席すると以降の演習に支障をきたす恐れがある。このため、目標達成のためには、初回から最後まで全て出席が大切です。

履修にあたっての注意・助言他

本授業を履修するには、エントリーシートの提出が必要です。
【エントリーシートの事前提出】
公務員対策は強い意志が必要となります。そこで履修希望者は、エントリーシートを提出して頂き、それが審査されて履修の可否が決定されます。なお、本授業は20人程度を定員としています。
【その他の注意・助言】
・本クラスは、最初に公務員試験合格を目指す学生を対象とする。理由なく遅刻・欠席しないこと。
・本プログラムの学習のみで合格できるほど、公務員試験は甘くない。本クラスはあくまでも公務員志望者のサポーターである。受講生諸君が独自に試験対策を練り、自習を重ねる必要があることは言うまでもない。
・学内の公務員試験対策講座（3年生から始まる有料講座）等の受講、もしくは外部専門学校等の受講（ダブルスクール）を強くお勧めする。
・「基礎知識」以外の関連する正誤演習、問答、履修することを強く推奨する。
（共通）法学入門、経済学入門、地域まちづくり概論、防災まちづくり論（公安職希望）基礎技能A（数的処理）

教科書

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

.公務員試験「数的推理」が面白いほどわかる本。	柴崎 直孝	KADOKAWA	1430	9784046022264
.公務員試験「判断推理」が面白いほどわかる本。	柴崎 直孝	KADOKAWA	1430	9784046022288

その他

必要に応じて資料を配布する。
参考図書：
「公務員試験 新・初級スーパー過去問ゼミ 数的推理 改訂版」、資格試験研究会（編集）、実務教育出版
「公務員試験 新・初級スーパー過去問ゼミ 判断推理 改訂版」、資格試験研究会（編集）、実務教育出版

授業計画

1. 授業の概要、公務員（公安職）について
2. 公務員試験とは？
3. 公安職研究 試験対策演習 知能分野（文章理解・資料解釈）
4. 公安職研究 試験対策演習 知能分野（文章理解・資料解釈）
5. 公安職研究 試験対策演習 知能分野（判断推理）
6. 公安職研究 試験対策演習 知能分野（判断推理）
7. 面接対策 試験対策演習 知能分野（数的推理）
8. 面接対策 試験対策演習 知能分野（数的推理）
9. 論文（作文）の書き方
10. 試験対策演習 中テスト
11. 面接対策 試験対策演習 知識分野（社会科学・人文科学・自然科学）
12. 面接対策 試験対策演習 知識分野（社会科学・人文科学・自然科学）
13. 試験対策演習 中テスト
14. エントリーシートの書き方
15. まとめ・振り返り
スケジュールは変更の可能性があります

授業形態（アクティブ・ラーニング）

A：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A.L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

対話型の演習時間を持ちます。

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

本講座では、毎回の学習内容の復習や、次回内容についての予習が非常に重要です。予習と復習については、授業中に指示します。公務員（公安職）に関する調査や発表準備を含めて、1回の講義に関する下調べと事後確認、試験対策演習に4時間程度をかけることを目安とします。また、普段から公務員に関するニュース・情報に関心を持ってください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本演習は以下のディプロマポリシーと関連する。
【流産科学入学生の卒業要件に共通して身につけておくべき資質・能力】
「ネアカのびのびへこたれず」の精神をもった人材
知識を知識に転換することができる。論理的思考力を持った人材
創造力 新しい視点と豊かな発想を持った人材
自主・自立の精神を持った人材
仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材
豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」となるための基礎能力

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

演習形式の授業である。受講生が公務員関連事項について調査・発表・質疑応答を行う。過去問演習はディスカッションをしながら行います。

実務経験の有無及び活用

備考